

～市立動物園～

※建物名は全て仮称です

ビジターセンター

園の入口となる施設です。受付機能のほか、学習スペースや授乳スペースなどを整備しました。



ふれあいセンター

モルモットやウサギなどが暮らす施設です。動物についての新たな発見や生き物を尊く感じていただけるような取り組みを実施します。



工事の進捗が見えるよ▼



すでに完成した施設をご紹介します！

リニューアル工事が、着々と進んでいます
(工事は令和9年3月末まで)



動物病院

動物の健康管理や体調が優れない動物の診療を行う施設です。クラウドファンディングでいただいた寄付金を活用し医療機器を充実しました。



市立動物園…
☎055(233)3875

waku waku



厩舎

ポニーやミニチュアホースなどが暮らす施設です。子どもたちが乗馬体験をできるように、乗馬場を整備しました。



家畜舎

ミニブタやシバヤギが暮らす施設です。ミニブタのためのプールやシバヤギを近くで観察できるヤギ山を整備しました。



休園中の動物たちの様子や最新の情報はコチラから /

ホームページ



Facebook



X



Instagram



YouTube



とびだせ！市民レポーター！

広範な活躍！“甲府地区消防本部”の活動

甲府地区広域行政事務組合消防本部では、火事の「消火活動」以外に、「救助活動」「救急活動」「広報」「立入検査」「訓練」、119番通報を受ける「高機能消防指令センター」など、多岐にわたる活動をしています。



▲全員で声を出し、素早く作業を実施



▲昨年50周年を迎えた甲府地区広域行政事務組合消防本部

高度な救出救助能力を持つ「高度救助隊」

人命救助の高度な知識や技術を持つ隊員が所属。7m下に滑落した人を救助する訓練では、隊長以下各隊員の役割が決まっています。1つの動作をするごとに声を出し、全員で確認し合っていました。命を守るためにはとても重要なことで、毎日の訓練でも徹底しているそうです。



▲救助ではチェーンソーや担架などさまざまな道具を使う

多忙な時間帯をカバー「日勤機動救急隊」

今年5月20日に発足した、救急需要が特に多い平日の日中に活動する救急隊です。出動件数が増加する中でも救急業務の質・効率を維持・向上することを目的とし、今年度は4人の隊員が配属されています。

スマートフォンを使った通報システム「ライブ映像119」

火事や救急の際、その様子を口頭で説明するのは意外と難しいですが、「ライブ映像119」では映像でやり取りができます。緊迫した火事や事故の様子、傷病者の症状などを映像で指令センターへ伝えられるため、的確な通報が可能となるほか、通信指令員から映像で応急処置方法などのレクチャーを受けられるので、有事の際にはとても心強いと感じました。音声による119番通報が困難な方向けに、「Net119緊急通報システム」という、テキストチャットを活用した仕組みもあるそうです。



▲「ライブ映像119」を活用する際は、通報者の身の安全の確保も大切！

今月の担当レポーター 武田 和巳

自然災害、遭難事故、交通事故、化学物質などそれぞれに対応する消防車、救急車が配備されていることや、救難救助の日々の訓練や最新の119番通報システムを知ることができました。急な病気やけがで迷ったときは「#7119」に、緊急・重症の時は迷わず「119」に連絡してくださいとのことです。



消防音楽隊も活躍!!



演奏を通じ防火・防災の意識高揚を図るため、出初式などで演奏しています

市民レポーターブログもご覧ください▼

【市ホームページ】

市民レポーターブログ 検索

チェック

「甲府地区消防職員採用試験案内」の記事は本誌21ページへ